

略歴

森 美智代（もり みちよ）教授

1954（昭和29）年生まれ 熊本県出身

学歴

- 1974年4月1日～1978年3月31日 福岡大学商学部卒業商学部貿易学科卒業・学士(福岡大学)
- 1978年4月1日～1980年3月31日 福岡大学大学院商学研究科(会計学専攻)博士課程前期修了・商学修士(福岡大学)
- 1981年4月1日～1984年3月31日 福岡大学大学院商学研究科(会計学専攻)博士後期課程単位取得満期退学
- 1986年4月1日～1989年3月31日 九州大学大学院経済学研究科博士後期課程(企業計算講座)単位取得満期退学
- 1997年12月25日 九州大学 [経済博乙第128号]博士(経済学)

職歴

- 九州大学経済学部助手（1989年4月～1990年3月）
- 徳山女子短期大学(現：徳山大学に併合)経営情報学科講師（1990年4月～1993年3月）
- 徳山女子短期大学(現：徳山大学に併合)経営情報学科助教授（1993年4月～1994年3月）
- 熊本県立大学総合管理学部助教授（1994年4月～2003年3月）
- ヴォルフガング・ゲーテ(フランクフルト)大学在外研究(1998年8月～1999年8月)
(受入研究室：国際会計：Prof. Dr. Ordelheide, Dieter教授に師事)
- 熊本県立大学総合管理学部教授（2003年4月～現在）
- 熊本県立大学総合管理学部ビジネスコース長(2016年4月1日～2018年3月31日)
- 熊本県立大学アドミニストレーション研究科長(2018年4月1日～2020年3月31日)

受賞

- 学会賞(国際会計研究学会:2011年)

社会活動

- 熊本テルサ理事会（1996年2月～2014年3月）・評議員(2014年4月～現在)
- 熊本県政府調達苦情検討委員会（2000年～2004年）
- 熊本県固定資産税評価審議会（2000年～2006年）
- 熊本県産業教員審議会（2004年～2005年）
- 熊本県雇用環境整備協会理事会（2006年～2007年）
- 熊本市開発審査会委員会(2010年4月～2018年)
- 熊本県立こころの医療センター運営評価委員会（2010年4月～現在）

熊本市入札等監視委員会(2011年4月～2019年3月)
八代市環境センター施設整備及び運営事業者選定委員会(2012年9月～2014年8月)
宇城市指定管理者審査委員会(2013年10月)
熊本市市民活動支援センター運營業務受託事業者選考委員会(2015年2月)
八代市指定管理者候補者選定委員会(2015年10月)
荒尾市民病院あり方検討委員会(2015年8月～現在)
熊本市市民病院事業運営委員会(2016年1月1日～現在)
公共事業評価監視委員会(2018年4月～2020年3月)

主な研究業績

I 著書

(単著)

『会計制度と実務の変容-ドイツ資本会計の国際的調和化を中心として-』(森山書店、2009/5、1-348頁)

『簿記の基礎-簿記からエクセルによる経営分析へ-』(改訂版)(税務経理協会、2007/5、1-276頁)

『簿記の基礎-簿記から経営分析へ-』(税務経理協会、2004/11、1-236頁)

『貸借対照表能力論の展開-ドイツ会計制度と会計の国際的調和化との関連において-』(中央経済社、1997/4、1-277頁)

(編著)

『地方創生への挑戦』第2章 財政健全化を基盤とした公立病院の役割-「独立採算の原則」と「経費負担の原則」(中央経済社、2018/3、23-38頁)

『地方創生への挑戦』第6章 地域の医療および福祉・介護の連携の可能性(中央経済社、2018/3、75-89頁)

(共著)

『図説 ヨーロッパの証券市場』2020年版 「第15章 会計制度」(日本証券経済研究所編、2020/3、244-253頁)

『図説 ヨーロッパの証券市場』2012年版 「第18章 会計制度」(全面改訂)(日本証券経済研究所編、2012/2、288-301頁)

『図説 ヨーロッパの証券市場』2009年版 「第10章 会計制度」(全面改訂)(日本証券経済研究所編、2008/12、278-289頁)

『プラン・コンタブルの国際比較』第4章 ドイツのコンテンラーメン(中央経済社、2005/7、39-60頁)

『プラン・コンタブルの国際比較』第5章 スイスのコンテンラーメン(中央経済社、2005/7、61-75頁)

『新千年紀のパラダイム』「ドイツ公会計制度の現状と会計計算システム」(九州大学出版会、2004/5、215-239頁)

『図説 ヨーロッパの証券市場』2004年版 「第10章 会計制度」(全面改訂)(日本証券経済研

究所編、2004/2、174-185頁)

『経済社会のダイナミズム』 「第8章 我が国の企業会計制度改革」 (税務経理協会、2001/11、125-142頁)

『図説 ヨーロッパの証券市場』 2000年版 「第10章 会計制度」 (全面改訂) (日本証券経済研究所編、2000/3、148-155頁)

『金融機関の顧客保護-欧米でのリテール戦略-』 「第5章 投資家保護の観点からの国際会計基準」 (東洋経済新報社、1998/8、147-196頁)

II 論文

「公立病院改革における組織再編に係る企業会計の役割」 『会計』 第196巻8月号、森山書店 (2019/8、28-39頁)

「医療経営改善が及ぼした影響-日独医療経営改革を踏まえて-」 『税経通信』 税務経理協会、(2017/3、140-150頁)

「公立病院改革における企業会計の役割」 『アドミニストレーション』 第23巻第2号、熊本県立大学総合管理学会 (2017/2、66-77頁)

「医療産業における会計の資本構造」 『会計』 第188巻第5号、森山書店 2015/11、113-127頁)

「ドイツ公的医療機関の民営化における会計制度と現状」 『産業経理』 Vol. 75, No. 3、産業経理協会 (2015/11、15-26頁)

「ドイツ公的医療機関の民営化における会計 一日独医療改革における組織再編を踏まえて」 『季刊 個人金融』 Vol. 4, No. 4、一般財団法人 ゆうちょ財団 (2015/8、80-89頁)

「非営利法人組織における会計の役割-日独医療改革のもとでの経営改善に向けて-」 『非営利法人研究学会誌』 VOL. 17、非営利法人研究学会 (2015/8、61-74頁)

「国立病院機構の独立行政法人化後の会計-企業会計原則の導入をとおして-」 『経理研究』 第58巻、中央大学経理研究所 (2015/2、309-324頁)

Die Reform der öffentlichen Krankenhäuser in Japan -In Hinsicht auf die Gemeinde-Krankenhäuser - 『総合知の地平』 九州大学出版会 (2014/12、S. 179-192)

「日独医療改革における企業会計の役割」 『会計』 第186巻第6号12月号、森山書店 (2014/12、15-29頁)

「公立病院改革における現状と課題-民間的経営手法の導入による会計の役割を通して-」 『経理研究』 第57号、中央大学経理研究所 (2014/2、184-198頁)

「非営利組織への民間的経営導入における会計の役割」 『会計』 第184巻第3号、森山書店 (2013/9、15-28頁)

「医療改革のもとでの病院経営分析の課題」 『経理研究』 第56号、中央大学経理研究所 (2013/3、300 - 316頁)

「ドイツ医療機関の現状と経営分析-会計的観点から我が国の医療改革との関連において-」 『会計』 第182巻第2号、森山書店 (2012/8、124-138頁)

「ドイツ医療機関の現状-会計的見地からの考察-」 『産業経理』 Vol. 71No. 4、産業経理協会 (2012/1、31-40頁)

『IFRS導入の基本的課題に関する多面的検討』 「IFRS導入とEU/ドイツ」 『国際会計研究学会年報』 国際会計研究学会、2010年度（2011/3、5-24頁）

「連結決算書における『自己資本』の開示についての課題—ドイツ商法会計からIAS/IFRSへの変換を巡って—」 『會計』 第178巻第3号、森山書店(2010/9、36-48頁)

「会計制度と会計実務の変遷—ドイツDAX-30とM-DAX企業等の会計実務分析を中心として—」 『會計』 第176巻 第2号、森山書店（2009/8、14-29頁）

「会計制度からの会計実務の乖離」 『産業経理』 Vol. 66 No. 1、産業経理協会（2006/4、14-25頁）

「会計基準の統合と会計監督による制度整備」 『會計』 第168巻第4号、森山書店（2005/11、12-22頁）

「ドイツにおけるコーポレートガバナンスと会計制度改革」 『証券経済学会年報』 第40号、証券経済学会(2005/7、122-127頁)

「ドイツ会計制度とコンテン・ラーメンの勘定構造の整合性についての検討」 『アドミニストレーション』 第11巻1・2号合併号、熊本県立大学総合管理学会（2004/12、101-120頁）

Dr. Anne d'Arcy/Prof. Dr. Michiyo Mori/Christine Roßbach, Die Bilanzierung immaterieller Vermögenswerte in den Abschlüssen börsennotierter Unternehmen in Deutschland und Japan, *Zeitschrift für kapitalmarktorientierte Rechnungslegung*, 4. Jahrgang, 2/2004, S. 67-77.

「ドイツ企業におけるコンテン・ラーメン」 『アドミニストレーション』 第10巻1・2号合併号、熊本県立大学総合管理学会（2003/8、1-23頁）

Das japanische Rechnungslegung der an der Börsennotierter Unternehmen in Deutschland und Japan. 『アドミニストレーション』 第9巻1・2号合併号、熊本県立大学総合管理学会（2002/12、S. 103-120）

「ドイツ資本市場における上場企業の会計制度」 『会計プロGRESS』 第3号、日本会計研究学会（2002/9、90-106頁）

「ドイツにおける資本市場活性化政策のもとでの会計制度の動向」 『會計』 第160巻第2号、森山書店（2001/8、39-54頁）

「会計制度改革とディスクロージャー制度」（日独比較） 『証券経済学会年報』 第36号、証券経済学会（2001/5、31-37頁）

「ドイツ会計制度改革」 『商経論叢』 神奈川大学経済学会、第36巻第4号、白桃書房（2001/3、173-192頁）

「ドイツにおける中小規模資本会社の会計制度の動向」 『會計』 第158巻第2号、森山書店（2000/7、39-54頁）

「国際会計基準の導入を巡る会計問題—日独の会計制度の見直しの現状を踏まえて—」 『証券経済学会年報』 第34号、証券経済学会（1999/5、93-100頁）

「ドイツ会計基準委員会の設置とその背景」 『アドミニストレーション』 第7巻1号、熊本県立大学総合管理学会(2000/9、23-68頁)

「ドイツ会計制度における新たな動向」 —会計制度への政策的影響力の検討— 『産業経理』 Vol. 57. No. 3、産業経理協会（1997/10、59-67頁）

- 「ドイツにおける国際会計基準への対応」『企業会計』Vol. 49 4月号、中央経済社
(1997/3、82-89頁)
- 「ドイツにおける中間持株会社の会計問題」『旬刊経理情報』第802号、中央経済社
(1996/11、17-25頁)
- 「ドイツ企業の会計政策-特に、会計基準の国際的調和化との関連において-」『會計』第150巻
第4号、森山書店(1996/10、66-81頁)
- 「ドイツ・コンツェルンの会計政策-実証研究を中心して」『佐賀大学経済論叢』第29巻第3・4
合併号、佐賀大学経済学会(1996/5、71-93頁)
- 「ドイツにおける国際会計の問題点-特に英米系と大陸系の会計処理を巡って-」証券経済学会
年報第31号、証券経済学会(1996/5、58-74頁)(第4回全国大会報告論文)
- 「ドイツ企業の I A S 適用の現状」『アドミニストレーション』第2巻4号、熊本県立大学総合管
理学会(1996/3、55-80頁)
- 「ドイツにおける I A S への対応と会計政策-特に、会計基準の国際的調和化との関連において
-」『アドミニストレーション』第2巻3号、熊本県立大学総合管理学会(1995/12、55-80頁)
- 「ドイツにおける財務諸表の二つの国際的調和化」『アドミニストレーション』第2巻1号、熊本
県立大学総合管理学会(1995/7、1-40頁)
- 「ドイツにおける会計政策論-特に、V. H. Peemöller, K. Kütting/C. P. Weber, D. Schneelochの諸説
を中心として-」『アドミニストレーション』第1巻3・4号、熊本県立大学総合管理学会
(1995/3、13-89頁)
- 「ドイツにおける国際会計の問題点」『アドミニストレーション』第1巻第1・2号合併号、熊本
県立大学総合管理学会(1994/12、129-177頁)
- 「ドイツにおける E C 会計指令と商法の調整から生じる新しい会計問題-特に、貸借対照表補助
的計上を中心として-」『研究紀要』第2号、徳山女子短期大学経営情報学会(1993/7、29-84頁)
- 「ドイツにおけるオプション取引の会計処理の現状」『徳山大学総合経済研究所紀要』第15号、
徳山大学総合経済研究所(1993/3、69-79頁)
- 「ドイツにおける計算限定項目の貸借対照表計上能力論」『徳山大学総合経済研究所紀要』第14
号、徳山大学総合経済研究所(1992/3、53-74頁)
- 「ドイツにおける貸借対照表補助的計上基準についての貸借対照表論の意義」『研究紀要』創刊
号、徳山女子短期大学経営情報学会(1992/3、41-77頁)
- 「ドイツにおけるオプション取引の貸借対照表計上能力論」『経済学研究』第57巻第3・4合併
号、九州大学経済学会(1992/8、49-81頁)
- 「貸借対照表計上基準と貸借対照表論」『徳山大学総合経済研究所紀要』第13号、徳山大学総合
経済研究所(1991/3、111-131頁)
- 「積極側貸借対照表計上能力問題史の一齣-特に、計算限定項目を中心に-」『経済学研究』九
州大学経済学会第55巻第3号(1989/12、213-237頁)

III 翻訳書

(共編)

『外国証券関係法令集「ドイツ」』取引所法、日本証券経済研究所（2002/1、37-77頁）

IV 学会発表

「医療産業における会計の資本構造」日本会計研究学会第79回全国大会（2015/9、於：神戸大学）

「非営利法人組織における会計の役割—日独における医療改革をとおして—」非営利法人研究学会第18回年次大会（2014/9、於：横浜国立大学）

「医療改革と医療産業の展開—日独経営分析をとおして—」日本経営分析学会第31回年次大会（2014/5、於：流通科学大学）

「病院経営分析の課題—ドイツ・コンツェルン医療機関の経営分析を中心として—（統一論題）」日本経営分析学会第29回年次大会（2012/5、於：大阪学院大学）

「IFRS導入とEU/ドイツ-IFRS導入の背後にある会計問題—（統一論題）」国際会計研究学会第27回研究大会（2010/9、於：大阪学院大学）

「病院経営の民営化と連結財務諸表の分析—ドイツの病院を中心として—」日本経営分析学会第27回年次大会（2010/7、於：関西学院大学）

「会計制度と会計実務の変遷—ドイツDAX企業とM-DAX企業等の会計実務分析を中心として—」日本会計研究学会第67回全国大会（2008/9、於：立教大学）

「シンポジウム—金融再生と証券市場（2）」「EUの金融再生と証券市場」ドイツにおける会計制度改革とコーポレートガバナンス、証券経済学会第61回全国大会（2004/6、於：埼玉大学）

「ドイツにおけるコンテン・ラーメンと会計制度の現代的意義」（スタディグループ中間報告）日本会計研究学会第62回全国大会（2003/9、於：近畿大学）

「証券ビッグバーンと会計制度」（共通論題）「会計ビッグバーンとディスクロージャー制度」（日独比較）証券経済学会第54回全国大会（2000/11、於：名古屋市立大学）

「ドイツにおける資本市場活性化政策のもとでの会計制度の動向」日本会計研究学会第59回全国大会（2000/9、於：明治大学）

「国際会計基準の導入を巡る会計問題—日独の会計制度の見直しの現状を踏まえて—」証券経済学会第49回全国大会（1998/5、於：中央大学）

「ドイツ企業の会計政策—特に、会計基準の国際的調和化との関連において—」日本会計研究学会第54回全国大会（1995/9、於：広島修道大学）

「ドイツにおける国際会計の問題点」証券経済学会第43回全国大会（1995/6、於：千葉商科大学）

(全国大会のみ)

V 辞典

(共著)

『会計学中辞典』（財産、静態論、ドイツ会計史、ドイツの会計制度、動態論、費用動態論）青山書店（2005/4）

『金融辞典』（国際会計基準委員会、企業会計審議会、ドイツ会計基準委員会）大月書店（2002/4）

『現代会計用語辞典』（回収基準、外注加工費、残余持分請求権、重要性の原則）税務経理協会
(2000/12)

VI その他

(書評)

佐藤誠二編著『EU・ドイツの会計制度改革—IAS/IFRSの承認と監視のメカニズム—』『産業経理』Vol. 67, No. 4, 産業経理協会 (2008/1、86-87頁)

(単著)

「ドイツ会計制度の新動向」(2)『企業会計』Vol. 52, No. 4, 中央経済社、(2000/3、110-112頁)

「ドイツ会計制度の新動向」(1)『企業会計』Vol. 52, No. 3, 中央経済社、(2000/2、110-112頁)

「特集1-基礎からの企業会計原則—貸借対照表原則」『会計人コース』中央経済社 (1997/10、28-35頁)

「ドイツ企業におけるIASの対応と適用状況」『旬刊経理情報』No. 778、中央経済社 (1996/2、37-38頁)

「ドイツにおけるオプション取引」『JICPAジャーナル』3月、第452号、中央経済社 (1995/3、18-19頁)

所属学会

日本会計研究学会、シュマーレンバッハ学会(ドイツ経営経済学会)、国際会計研究学会、証券経済学会、日本経営分析学会、非営利法人研究学会(常任理事：組織委員：九州部会長)